

櫛形北小学校　学校通信　　教育目標　豊かな心をもち　たくましく生きる

共に手をとり！

令和８年１０月１３日　№１０　文責：校長　内藤大輔

百聞は一見に如かず　～五感で学んだ修学旅行～

９月３０日から１０月２日までの３日間、６年生が鎌倉・東京方面への修学旅行に行ってまいりました。あいにくの雨模様となる時間もありましたが、子どもたちは元気に行程をやり遂げました。ことわざに「百聞は一見に如かず」とあります。事前学習で「鎌倉大仏の高さは約１１．３ｍ」と知識として調べていた子どもたちですが、いざ現地を訪れ、木立の間から急に現れた大仏を見上げた瞬間、その圧倒的な大きさに言葉を失い、深い感動の声をあげていました。さらに、５０円を払って、大仏の中（胎内）に入り、当時の鋳造技術や歴史の重みを肌で感じ取るなど、実際に鎌倉の街を歩いて五感で学んだ経験は、机上の学習だけでは決して得られない貴重な財産となりました。



また、見学先の一つである東京タワーは、曲輪田出身の内藤多仲先生が構造設計を手掛けた塔です。事前学習で地域の誇りとして学んでいた偉業を、実際に足元から見上げ、展望台から東京の街並みを一望することで、子どもたちは郷土の先人に対する誇りと尊敬の念を一層深めることができました。まさに「本物」に触れることで、知識が実感となり、体の中にしっかりと通った素晴らしい機会となりました。



さらに、学校での日常生活とは異なり、様々な仲間と関わりながら行うグループ活動があり、友達の新たな良いところをたくさん発見することができました。困っている友達がいれば自然と手を差し伸べ、助け合いながら課題を解決する姿に大きな成長を感じました。１日目より２日目、２日目より３日目と、日を追うごとに子どもたちの時間やマナーを守る意識が深まり、めあてである「協力・絆・思い出」が見事にかたちとなった「最高の修学旅行」となりました。

実体験を通して学び、仲間との絆を深めた６年生。今週には陸上記録会も予定されています。さらにその先には小学校生活の集大成である卒業式も控えています。この修学旅行で育んだたくましさと結束力を発揮してくれることを期待しています。

4年生 「相手の立場に立つ」福祉体験学習

４年生が総合的な学習の時間で、社会福祉協議会の皆様を講師にお迎えし福祉体験に取り組みました。スライドで視覚障害や白杖の役割、点字ブロックなどを学んだ後、体育館でアイマスクと白杖による歩行と介助の体験を行いました。障害物を前に、言葉かけひとつで相手の不安が和らぐことを実感した子どもたち。「適切な声かけがあれば安心して歩けた」「困っている人を見かけたら進んで手を差し伸べたい」といった思いやりのある振り返りが多く届きました。相手の立場に立ち、自分から進んで行う「助け合い」について考える学習になりました。





3階フロアのフローリング化工事が完了しました

５・６年生の教室がある３階の床改修工事が無事に終了しました。これまで親しんできたジュータンから、清潔で温かみのあるフローリングへと美しく生まれ変わりました。連休明けの本日より、子どもたちは新しくなった元の教室へと戻ります。間もなく卒業を迎える６年生をはじめ、子どもたちにはより快適な環境で集中して学習に取り組んでほしいという願いから実現したものです。



きれいに仕上がった床を目にした子どもたちは大喜び。新しくなった環境に感謝の気持ちを持ち、これからもみんなでずっと大切に使っていってほしいと願っています。

学校の広場のページも随時更新中！

学校 HP の QR